

試合番号 : 211	試合会場 : 元気フィールド仙台 (仙台市新田東総合運動場)	観客数 : 951	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:30	試合時間 : 01:30	
主審 : 村中 伸	副審 : 早坂 行博		
サントリーサンバーズ	通算 18勝 5敗 ポイント: 48	東レアローズ	通算 16勝 7敗 ポイント: 49
3	25 第1セット 22 25 第2セット 20 25 第3セット 21 第4セット 第5セット	0	監督コメント 今日はたくさんの応援ありがとうございました。相手の強いサーブとブロックに苦しめられましたが、選手は強い気持ちを持って戦ってくれました。明日も難しい試合になりますが、応援して下さる方々に感動を届けられるような熱い試合をして勝ちたいと思います。
要約レポート	6連勝で首位に立つサントリーサンバーズが2位東レアローズをサブホームタウン仙台に迎えての上位対決。第1セット、サントリーはムセルスキーのバックアタック、東レは小澤のスパイクで互いに譲らず一進一退の攻防となるが、サントリーはラインのレフトからのスパイクで抜け出し、最後はムセルスキーの強打で先取る。第2セットも再び両者譲らず中盤まで競い合うが、サントリーは影がセンターからクイックを決めリードし、最後は地元仙台出身の松林が見事なブロックを決め連取る。第3セット、勢いに乗るサントリーが小野のブロックで一気にリードする。東レは富松の連続ブロックや富田のスパイクで追いつけるが、終盤サントリーが3連続ブロックで突き放し最後はムセルスキーがバックから強烈にスパイクを決め、7連勝を飾った。		

試合番号 : 212	試合会場 : 墨田区総合体育館	観客数 : 450	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:57	試合時間 : 01:57	
主審 : 山本 晋五	副審 : 新田 浩幸		
FC東京	通算 7勝 16敗 ポイント: 24	大分三好ヴァイセアドラー	通算 5勝 18敗 ポイント: 13
3	22 第1セット 25 25 第2セット 22 25 第3セット 20 25 第4セット 17 第5セット	1	監督コメント 今日はコロナ禍の中、たくさんの応援ありがとうございました。また、試合を運営していただき、とても感謝しています。1セット目は、自分たちの持ち味であるサーブとブロックとレシーブの関係がうまく機能し、優位に展開することができました。しかし、2セット目以降は自分たちのミスで流れが変わり、サイドアウトを取り切ることが出来ず、相手に優位な展開へと持って行かれてしまいました。自分たちの課題をしっかりと見つめ直して、明日に向けて準備をしていきます。明日も応援よろしくお願いいたします。
要約レポート	現在8位のFC東京と、9位の大分三好ヴァイセアドラーの僅差で順位を争っている両チームの対戦。第1セット、大分三好は内定選手である安部のブロック、川口のサービスエースなど、ミドルブロッカーの活躍でスタートを切る。対するFC東京はセッターの手原がトスをうまく散らし、全ポジションから攻撃を組み立てる。点差が開かず終盤を迎えるが、勝負どころで大分三好・エメルソンが連続してスパイクを決め、1度もリードを渡さずセットを先取した。第2セット、中盤まで一進一退の攻防となるが、先に抜け出したのはFC東京だった。クヴァレンがブロック、スパイクを立て続けに決め、点差を4点に広げた。大分三好はセッターを井口に代え、逆点の糸口を掴む。エメルソン、バグナス、藤原と目を変えたトス回しで連続得点を生み出し、1点差にまで詰め寄る。しかしFC東京はエスベホが踏ん張り、セットを取り返した。第3セット、終盤まで抜きつ抜かれつ接戦となった。両チーム1人1人の重みを感じ、際どい判定のチャレンジの応酬になるも最後に流れを引き込んだのはFC東京だった。小田嶋がブロックにサービスエースと、チームを勢いづける得点をあげ押し切った。第4セット、FC東京はエスベホにボールを集める。それにクヴァレンも続き、得点源である2人が存分に活躍し、リードを序盤から広げる。このままでは終われない大分三好は、途中出場の高賀がスパイクにブロックにサービスエースと、起爆剤として大車輪の活躍をみせるが、FC東京は手原の連続スーパーレシーブで得点を繋ぎ、最後はクヴァレンがスパイクを決め、ホームゲームで嬉しい8勝目を手にした。		

試合番号 : 213	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 780	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:06	試合時間 : 02:06	
主審 : 城 智人	副審 : 本間 明		
ウルブドッグス名古屋	通算 12勝 7敗 ポイント: 36	VC長野トライデンツ	通算 1勝 22敗 ポイント: 4
3	25 第1セット 23 21 第2セット 25 25 第3セット 21 25 第4セット 23 第5セット	1	監督コメント このコロナ禍の中、大会の開催にご協力をお願いしている全ての関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。ウルブドッグス名古屋を分析し対策して試合に臨みました。対策が機能しブレイク率を高める事が出来ましたが、取られたセットは中盤で崩れ自分達のバレーが出来ずセットを失ってしまいました。今日出た結果を修正し、明日の試合に勝利出来るように準備して臨みます。本日は応援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願いいたします。
要約レポート	ホームゲームのウルブドッグス名古屋がVC長野トライデンツを迎えての一戦。第1セット、WD名古屋がクレク・永露のブロックなどで得点を積み重ねて8-3と差を広げる。VC長野は16-19から池田(幸)のアタック・ブロックによる連続得点で同点とする。終盤にWD名古屋は傳田のブロックでリードするとそのままこのセットを先取る。第2セット、均衡したラリーが続く。VC長野はセッター山岸がサイドを利用した攻撃でリードをすると、WD名古屋もクレクにボールを集め反撃する。中盤にVC長野がリヴァン・三輪のブロックやアタックでリードを広げると、最後はリヴァンがアタックを決めて、このセットを奪う。第3セット、VC長野は序盤にリヴァンにボールを集める。8-8からWD名古屋は近のアタックと高梨のサービスエースでリードすると、傳田がブロックとアタックでさらにリードを広げる。VC長野は伊藤に変わって入った中村がアタックを決めて食らいつづけるが、WD名古屋がリードを保ったままこのセットを奪う。第4セット、序盤からWD名古屋がリードした状態で一進一退の攻防が続く。WD名古屋は16-16からクレクのアタック・サービスエースと山崎のブロックで差を広げる。VC長野は池田(幸)の強烈なアタックで差を縮めるが、最後はWD名古屋の高梨がアタックを決めて勝利した。		

試合番号 : 214	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 0	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:18	試合時間 : 01:18	
主審 : 原 啓之	副審 : 中口 岳		
パナソニックパンサーズ	通算 14勝 7敗 ポイント: 43	ジェイテクトSTINGS	通算 13勝 10敗 ポイント: 38
3	25 第1セット 23 25 第2セット 15 25 第3セット 17 第4セット 第5セット	0	監督コメント 自分達の本来の力を発揮できませんでした。気持ちを切り替えて明日の試合に臨みます。いつも応援ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。
要約レポート	レギュラーラウンド4位のパナソニックパンサーズが、6位のジェイテクトSTINGSを迎えてのホームゲーム。第1セット、序盤から両チームともリードを許さない展開が続いた。パナソニックはクビアク、大塚にボールを集めセットの主導権を握ろうとする。対するジェイテクトも宮浦、藤中が応戦するが、最後は大塚のアタックが決まりパナソニックがこのセットを取る。第2セット、パナソニックはクビアク、深津のサービスエースで流れをつかみ、連続得点を重ねジェイテクトを突き放す。一方ジェイテクトは、宮浦のアタックで流れを戻そうとするが、後半はパナソニック・クビアクの攻撃、山内のクイックが決まりこのセットを取る。第3セット、第2セットの流れのままパナソニックが試合を優位に進め深津、山内のサーブでジェイテクトの攻撃を崩す。ジェイテクトも宮浦を中心に反撃を試みるも、パナソニックの勢いは止まらずパナソニックがストレートで勝利を飾った。		

試合番号 : 215		試合会場 : 東広島運動公園体育館				観客数 : 650							
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:42		試合時間 : 01:42		主審 : 西中野 健		副審 : 弘中 秀治					
JTサンダーズ広島			通算		9 勝 12 敗		堺ブレイザーズ			通算		16 勝 7 敗	
			ポイント :		30					ポイント :		48	
監督コメント	スタート時のブレイクチャンスを取れず、リズムに乗り切れない展開になりましたが、選手の食欲に1点を取る気持ちを持ち続けて戦ったことが勝利に繋がったと思います。ホームゲームで沢山のご声援に応えられた事を嬉しく思います。ありがとうございます。明日もチーム一丸となって戦います。ご声援よろしくお願います。			26		第1セット		24		今日は首位攻防における大切な1戦であり、万全の準備をして臨みました。しかし、JT広島の勢いに押され、逆点を許す展開となりました。途中出場の選手の活躍もあり善戦はしましたが、最後は押し切られる形となってしまいました。広島まで応援に来ていただいたサポーターの皆様、ありがとうございます。修正をして明日、取り返します。明日も応援よろしくお願います。			
				25		第2セット		22					
				25		第3セット		22					
						第4セット							
						第5セット							
要約レポート													
第1セット、序盤に堺ブレイザーズの出栗田・バーノンがアタックとブロックを決めてリードする。JTサンダーズ広島もエドガーの強烈なアタックで必死に粘りをみせて中盤に追いつき、ここから堺は、バーノンにボールを集めたが、JT広島もエドガーのアタックで応戦し、終盤まで一進一退の攻防を繰り返した。最後に、JT広島エドガーが強烈なアタックを決めて先取した。第2セット、第1セットの勢いそのままJT広島が、エドガー、坂下、山本のアタックなどで大きくリードを広げた。堺は、この大きく開いた点差を鶴野、追込、バーノンのアタックと出栗田のブロックなどで終盤に追いつき、ここから一気に流れを掴んだかにみえた。しかし、JT広島・小野寺が3連続ブロックで突き離し連取した。第3セット、後がない堺は、鶴野、出栗田のアタックと松本がブロックを決めるのに対して、JT広島はエドガー、坂下、山本のアタックで終盤までサイドアウトを繰り返した。終盤に、JT広島の西がブロックを決めると、ここからエドガーのアタックと山本のブロックでリードを広げ、最後は坂下がサービスエースを決めてホームゲームを勝利で飾った。													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
通算			- 勝 - 敗		第1セット		通算			- 勝 - 敗		
ポイント :			-				ポイント :			-		
監督コメント						第2セット						
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
通算			- 勝 - 敗		第1セット		通算			- 勝 - 敗		
ポイント :			-				ポイント :			-		
監督コメント						第2セット						
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
通算			- 勝 - 敗		第1セット		通算			- 勝 - 敗		
ポイント :			-				ポイント :			-		
監督コメント						第2セット						
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												